

**未来の京都の成長・発展を支える学術研究・先端産業等用地の創出に係る調査・検討業務  
提案書 評価基準表**

評価項目	評価基準	配点	評価				
			A	B	C	D	E
実施能力及び経験 (16点)	業務実施体制は十分か	8	8	6	4	2	0
	応募者の過去5年間の同種又は類似作業の実績を有しているか	4	4	3	2	1	0
	統括責任者及び担当者の過去5年間の同種又は類似作業の実績を有しているか	4	4	3	2	1	0
実施方針 (76点)	ア 京都の産業面からの強み、ポテンシャル等の整理 ○ 京都の産業面からの強み、ポテンシャル等の整理方法が妥当か	8	8	6	4	2	0
	イ 企業のニーズの整理 ○ ヒアリング調査を行う企業の選定方法、調査項目が妥当か ○ 近畿圏の自治体における企業立地の動向の調査方法が妥当か ○ 本市から市外に流出した事例の収集方法が妥当か ○ 企業のニーズの整理方法が妥当か	8	8	6	4	2	0
	ウ 京都の都市特性をいかした産業構造のあり方の検討 ○ 本市の都市特性や企業ニーズを踏まえた産業構造のあり方の検討方法が妥当か	12	12	9	6	3	0
	エ 産業用地として活用可能な土地の調査 ○ 都市計画区域内の土地状況の調査方法が妥当か ○ 活用可能な土地の整理方法が妥当か	8	8	6	4	2	0
	オ 土地の事例検証 ○ 土地状況の調査方法が妥当か ○ 費用対効果（事業費用、税収効果等）のシミュレーション方法が妥当か ○ 産業用地創出に当たっての課題の整理方法が妥当か。 ○ 実現可能性の検討方法が妥当か ○ エリアに応じた産業集積のあり方の検討方法が妥当か	8	8	6	4	2	0
	カ 民間と行政の役割分担の検討 ○ 調査を行う他自治体、開発事業者の選定方法、調査項目及び調査方法が妥当か ○ 民間と行政の役割分担の検討方法が妥当か	8	8	6	4	2	0
	キ 産業集積を図るエリアの条件の整理 ○ エリアの条件の整理方法が妥当か ○ 上記ア～カを踏まえたものになっているか	8	8	6	4	2	0

	ク 学術研究・先端産業等用地創出に係る本市の基本的な方向性の検討 <input type="radio"/> 調査を行う他自治体の選定方法，調査項目及び調査方法が妥当か <input type="radio"/> 産業集積を図る規模・業種・業態等の検討方法が妥当か <input type="radio"/> 本市の基本的な方向性の検討方法が妥当か <input type="radio"/> 上記ア～キを踏まえたものになっているか	12	9	6	3	0	
	実施スケジュール <input type="radio"/> 検討，調査手順が妥当か <input type="radio"/> 実施可能なスケジュールか	4	4	3	2	1	0
見積金額※ (8点)	A = 最低金額以上 最低金額 + (1,000万円 - 最低金額) × 1/5 未満 B = 最低金額 + (1,000万円 - 最低金額) × 1/5 以上 最低金額 + (1,000万円 - 最低金額) × 2/5 未満 C = 最低金額 + (1,000万円 - 最低金額) × 2/5 以上 最低金額 + (1,000万円 - 最低金額) × 3/5 未満 D = 最低金額 + (1,000万円 - 最低金額) × 3/5 以上 最低金額 + (1,000万円 - 最低金額) × 4/5 未満 E = 最低金額 + (1,000万円 - 最低金額) × 4/5 以上 1,000万円以下	8	8	6	4	2	0
合計		100					

※見積金額には，消費税及び地方消費税相当額を含むものとする。